

R5.2.15

仙台市長町駅東口駐車場の供用開始のご案内

1. 供用開始予定日時：令和5年3月8日（水曜日）13時
2. 場所：仙台市太白区あすと長町一丁目6番
3. 入出庫可能時間：24時間
4. 駐車台数：30台（うち2台は車椅子対応）
5. 利用料金：
 - 最初の30分以内は無料
 - 30分を超え45分以内までは200円
 - 45分を超えると15分ごとに100円が加算
6. 駐車可能車両：普通自動車、軽自動車
7. 広報について：仙台市ホームページ・仙台市政だよりへの掲載予定（各区版－4月号）



令和5年度、仙台市の主な予算決定なる(一般会計)

未来を開く、一人ひとりの挑戦と活躍を支えるまちへ

令和5年度予算：6,147億円

柱1 ひとが輝く、デジタル化を推進する(P2) 当初予算案:48億円

知の力による都市活力の創出

- リサーチコンプレックス推進(36)
- スーパーシティ等推進(177)
- 官民データ活用推進(47)
- 仙台MaaS推進(14)
- BOSAI-TECHイノベーション創出促進(48)
- 次世代放射光施設等関連産業振興(3,289)

デジタルの力で支える豊かな暮らし

- ◎SNS等による被害情報等集約機能検証(3)
- ◎eスポーツの活用による高齢者の健康づくり等推進(8)
- ◎ICTを活用したフレイル健診(1)
- 先端技術等を活用した宮城地区の地域課題解決(15)
- ◎デジタルドリル導入(76)
- ◎介護認定審査会ペーパーレスシステム運用(17)

デジタルを活かした市役所改革

- ◎区役所窓口のDX推進(書かない窓口)(10)
- ◎スマートフォン対応電子申請システム運用(14)
- ◎保育給付費申請等オンライン化(31)
- ◎次期DX推進計画策定等(9)

柱2 ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む(P3) 当初予算案:253億円

子育てが楽しいまち・仙台

- ◎(仮称)仙台こども財団の設立(13)
- ◎子ども医療費助成所得制限撤廃(394)
- ◎併走型相談支援と応援給付金の一体的実施(796)
- ◎子どもの遊びの環境の充実(5)
- ◎未就園児の定期的な預かりモデル事業(36)
- 小学校35人以下学級の拡充(128)

若者活躍・子ども若者支援

- ◎子ども・若者支援ネットワークの構築(18)
- ふれあい広場サテライト(40)
- ヤングケアラー支援体制強化(9)
- 困難を抱える女性への支援(15)
- 若者が活躍するまちづくり(4)
- ◎学校へのスクールソーシャルワーカーの配置(15)

安心して生き生きと暮らせる環境の実現

- ◎(仮称)医療政策基本方針策定(15)
- ◎休日夜間救急オンライン診療活用(15)
- ◎ひきこもり支援ニーズ調査(41)
- 民生委員の活動支援(9)
- 在籍学校外教室「ステーション」拡充(30)
- 被災者健康支援(2)

柱3 すべてのひとが活躍できるまちの魅力を創造し、発信する(P4) 当初予算案:95億円

地域経済活性化・観光再生元年

- スタートアップ・エコシステム推進(100)
- ◎訪日旅行再開を契機としたインバウンド推進(71)
- G7仙台科学技術大臣会合開催支援等(57)
- ◎中心部商店街活性化促進(16)

青葉山エリアまちづくり・都市の拠点形成

- 全国都市緑化フェア推進(504)
- 複合施設基本構想策定等(55)
- 都心の再整備支援(31)
- 海浜エリア活性化(29)
- ◎長町における賑わいと交流の街並み形成促進(8)
- 泉中央地区活性化(12)

防災環境都市・カーボンニュートラルの実現

- 家庭向け脱炭素推進(169)
- 自家消費型太陽光発電システム普及促進(36)
- 防災環境都市づくり推進(60)
- ◎グリーンインフラ推進助成(10)
- ◎森林環境整備(48)
- ◎米と米粉・農作物の活用促進(2)

※柱ごとの金額は、重点配分経費の合計 ※◎新規、○拡充 ※主な事業を掲載。事業名後の()内は事業費(単位:百万円)

柱1

ひとが輝く、デジタル化を推進する

- 便利で豊かな暮らしの実現に向け、デジタル技術等による「学都」の知の力を生かした活力創出やコミュニティ活性化、市民サービスの向上を図る。
- デジタル技術を活用した市役所の業務改革を進め、業務の効率化とともに市民の利便性向上に取り組む。

知の力による都市活力の創出

- 拡** リサーチコンプレックス推進 3,623万円
次世代放射光施設「ナノテラス」を中核として、最先端研究開発拠点や関連企業が集積するリサーチコンプレックスの更なる発展を図る。
- 拡** スーパーシティ等推進 1億7,791万円
東北大学や民間事業者と連携し、国の交付金等を活用しながら、複数分野のデータ連携による先端的なサービスの創出と実装を図る。
- 拡** 官民データ活用推進 4,730万円
エリアネットワーク団体と連携し、データ流通を推進するための実証事業やユースケース創出事業を行い、スマートシティ実現に向けた取り組みを進める。
- 拡** 仙台MaaS推進 1,414万円
移動の目的となるイベントやスポット情報と公共交通情報を面的に発信するデジタルマップの導入等、仙台MaaSの利便性向上を図る。
- 拡** BOSAI-TECHイノベーション創出促進 4,813万円
産学官金連携による防災関連産業のオープンイノベーションに取り組み、仙台防災枠組が掲げる世界の災害リスク低減への貢献を目指す。

次世代放射光施設等関連産業振興 32億8,941万円

次世代放射光施設の立地を仙台・東北の産業におけるイノベーションや付加価値の創造などにつなげ、地域経済への波及効果を最大限に生み出す。

- 新** 区役所窓口のDX推進(書かない窓口) 1,054万円
マイナンバーカードを利用して、窓口での各種申請書記入の負担を軽減するための支援システムを区役所に導入する。
- 拡** スマートフォン対応電子申請システム運用 1,445万円
マイナンバーカードを利用した本人確認や、手続きに係る手数料のクレジットカードによる電子決済に対応した電子申請システムを本格運用する。

デジタルの力で支える豊かな暮らし

- 新** SNS等による被害情報等集約機能検証 330万円
AIを活用した防災システムの試験環境を構築し、災害時の被害情報や避難所情報の集約機能について実用性を検証する。
- 新** eスポーツの活用による高齢者の健康づくり等推進 841万円
老人福祉センター2館において、eスポーツ体験会や施設間をオンラインで結んだ対抗戦を行うなど、健康づくりや生きがいづくりを推進する。
- 新** ICTを活用したフレイル健診 188万円
検査から判定のプロセスにICTを活用し、フレイルのリスク度を数値化することで、フレイル状態となっている高齢者の早期発見、必要な支援につなげる。
- 先端技術等を活用した宮城地区の地域課題解決 1,500万円**
宮城地区西部において、電子回覧板の普及啓発やAIカメラによる有害鳥獣対策、新たな技術を活用した農作物の高付加価値化を行う。
- 新** デジタルドリル導入 7,668万円
個に応じた学習支援や授業改善に向け、学習履歴の可視化等による児童生徒の学力向上を図るため、市立小中学校全校にデジタルドリルを導入する。
- 新** 介護認定審査会ペーパーレスシステム運用 1,766万円
審査会の効率化に向け、委員へタブレット端末を貸与し、クラウドサービスを活用した資料の共有化を図り、オンラインによる審査会を推進する。

デジタルを活かした市役所改革

- 新** 保育給付費申請等オンライン化 3,117万円
保育施設等がインターネットから給付費や補助金の申請等が行えるシステムを導入し、事務処理の効率化等を図る。
- 新** 次期DX推進計画策定等 912万円
市役所DXの実効性を高めるべく、専門的知見を踏まえ、DXに係る最新の潮流を反映した計画の策定等を行う。

柱2 ひとの暮らしを支え、未来の担い手を育む

- 「子育てが楽しいまち・仙台」を実現すべく、未来を担う子どもたちを温かく、健やかに育む取組みを強力に進める。
- 誰もが思い思いに活躍できる環境づくりとともに、一人ひとりに寄り添った細やかな支援に取り組み、誰一人取り残さない施策を拡充する。

子育てが楽しいまち・仙台

- 新** (仮称)仙台子ども財団の設立 1,300万円
子育てしやすいまちづくりを進めるため、子ども・子育て支援に係る事業を行うことを目的とした財団を設立する。
- 新** 子ども医療費助成所得制限撤廃 3億9,407万円
令和5年4月から子ども医療費助成における所得制限を撤廃し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。
- 新** 件定型相対支援と応給給付金の一体的実施 7億9,626万円
妊娠期から出産・子育て期まで一貫して支える件定型相談支援と、経済的負担軽減に向けた出産・子育て支援給付金の支給を一体的に実施する。
- 新** 子どもの遊びの環境の充実 513万円
公園等における自由な遊び場の運営など、プレーパーク活動等の普及に向けた啓発や支援を行う。
- 新** 未就園児の定期的な預かりモデル事業 3,642万円
定員に空きのある保育所等において、未就園児を対象に、週1～2日程度の定期的な預かりモデル事業を実施する。
- 拡** 小学校35人以下学級の拡充 1億2,809万円
35人以下学級編制を、小学校1～4年生に加え、新たに小学校5年生に拡充するとともに、令和6年度以降を見据えた環境整備を行う。

若者活躍・子ども若者支援

- 新** 子ども・若者支援ネットワークの構築 1,833万円
就労等に不安を持つ若者の自立・就労を支援するとともに、関係機関で構成する協議会を設置し、子ども・若者支援の充実を図る。
- 拡** ふれあい広場サテライト 4,015万円
居場所を必要とする子どもたちの通所スペースである、ふれあい広場サテライトの開設日数の拡充や、アウトリーチを含めた支援体制を強化する。
- 拡** ヤングケアラー支援体制強化 945万円
ヤングケアラーの支援につなげるため、民間機関等による支援体制の構築やオンラインサロンを開催する。
- 拡** 困難を抱える女性への支援 1,500万円
困難を抱える女性への支援として、出張型相談、レスパイト、生理用品の配布、学び直しプログラム提供、アウトリーチ型相談支援を行う。
- 拡** 若者が活躍するまちづくり 436万円
若者の活躍を応援するため、若者がまちづくりのアイデアを話し合うワークショップや、若者団体による社会貢献活動の表彰などを行う。
- 新** 学校へのスクールソーシャルワーカーの配置 1,531万円
生徒指導上の課題が多様化・複雑化していることから、早期対応に向け、スクールソーシャルワーカーを拠点校に配置する。

安心して生き生きと暮らせる環境の実現

- 新** (仮称)医療政策基本方針策定 1,553万円
将来にわたり持続可能な医療提供体制を確保するため、本市の医療政策に関する方針を策定する。
- 新** 休日夜間救急オンライン診療活用 1,597万円
増加が見込まれる救急医療需要に対応するため、オンライン診療を活用し、休日・夜間の初期救急医療体制の充実を図る。
- 新** ひきこもり支援ニーズ調査 4,170万円
ひきこもり状態にある方へ適切な支援を届けるため、実態や支援ニーズの把握に向けた調査を行う。
- 拡** 民生委員の活動支援 922万円
地域の身近な相談・支援の担い手である民生委員児童委員の活動を支援するため、活動費の増額や協力員制度の拡充を図る。
- 拡** 在籍学級外教室「ステーション」拡充 3,000万円
不登校生徒等の学校内の居場所となる在籍学級外教室「ステーション」への専任教員の配置を、20校から25校に拡充する。
- 新** 被災者健康支援 289万円
被災された方々の心身の健康状態を把握し、健康づくりや心のケアなど一人ひとりの状況に合わせたきめ細やかな健康支援を行う。